

## ■アンケート及びヒアリング意見要旨

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1) 第1回委員会の補足意見       | 1p |
| 2) 学習の対象者の考え方        | 1P |
| 3) 学習テーマ             | 2P |
| 4) 学習のストーリー及びルート     | 3P |
| 5) その他（具体的な施設整備イメージ） | 4P |

## ■各委員からの提供資料

|       |  |     |
|-------|--|-----|
| 提供資料① | 「いきいきわくわく体験マップ」(H13)<br>～豊田委員からの資料～                      | 5p  |
| 提供資料② | 五助橋断層帯の学習意義とその整備<br>～宮田委員からの資料～                          | 10P |
| 提供資料③ | 「住吉川とその周辺の歴史」<br>「住吉川清流の会20周年記念誌」(P27～32)<br>～道谷委員からの資料～ | 14P |
| 提供資料④ | 「防災にたずさわる人々」<br>～豊田委員からの資料～                              | 21P |
| 提供資料⑤ | GB事業で整備した樹林(対比林)<br>～後藤委員からの資料～                          | 22P |
| 提供資料⑥ | 谷崎潤一郎がすごしたまち：「てくてく阪神」秋号<br>～後藤委員からの資料～                   | 24P |
| 提供資料⑦ | グローバル総合住吉川学習プラン<br>～大黒委員からの資料～                           | 26P |

■ アンケート及びヒアリング意見要旨

| 項 目   | 全 体   | 砂防と地質   | まちづくりと歴史  |
|---|---|---|---|
| <p>1) 第一回委員会の補足意見</p> <p>★学習素材、学習地点の<br/>補足追加</p>   | <p>○六甲山系の環境教育教材として「いきいきわくわく体験マップ」(H13)があり、学習ゾーンの参考となる。<br/>⇒「提供資料①」(5P)</p> <p>○「地域を」学習するのではなく、「地域で」学習する多様な情報・教材・知識の総合性が重要。</p> <p>○水車小屋が住吉神社の下にあった。住吉神社の宮司の話や資料館を参考にしてほしい。【豊田委員】</p> <p>○水車は、かつて左岸側に連担し、原動力として活用。(昔の産業：酒、そうめん、粉屋) 【田中委員長】</p> <p>○東灘区の人口は増加。子供が多い(多子高齢化現象)</p> <p>○まちづくり課(東灘区)では、地元と話をする機会は多いが、小学生とは機会は少ない。 【大藪委員】</p> <p>○人口増加(新住民)が著しい。川の利用は多いが、地域の歴史などは知られていないのでは。祭りや清掃活動なども旧住民が主体。 【嶋津委員】</p>  | <p>○アカホヤ(6,300年前：鬼界アカホヤ火山灰)を発見することにより、年代、堆積の様子が分かる。(始良丹沢火山灰(通称AT)：25,000年前)</p> <p>○当地域の石積みは丸石が主体。(転がってきた石)石切り道はあるが、石切り場がない。</p> <p>○松下まり子先生：六甲山の森林の歴史を研究 【田中委員長】</p> <p>○六甲山は、身近な自然として市民や子どもたちに親しまれているが、災害などによる「山の恐ろしさ」が忘れられている。</p> <p>○「地層の様子」などを通じて、六甲山の千年も昔から生きてきた力、今も生きている力を、子どもたちに伝えたい。 【豊田委員】</p> <p>○五助橋断層帯の学習意義等について現地の写真を交えて、次回委員会で紹介したい。<br/>⇒「提供資料②」(10P)</p> <p>○11月14日に魚崎中学校の生徒と阪神淡路大震災の体験について語り合った。【室谷委員】</p> | <p>○「住吉川清流の会 20周年記念誌」のP27～32の「住吉川とその周辺の歴史」を次回配布下さい。<br/>⇒「提供資料③」(14P)</p> <p>○シーメンス事件の舞台(ヘルマンハイツ跡)</p> <p>○明治～大正：経済が動いた場所(観音林クラブ)</p> <p>○徳本寺 【道谷委員】</p> <p>○だんじりばやし(住吉神社)</p> <p>○「とくほんさん」「若宮神社」「こうしん塚」「あかつか橋」「あかつか堂」「渦が森」</p> <p>○「かもこがはら」(昔はかもが多くいた)</p> <p>○「青木(おおぎ)」：昔は「青亀(あおき)」(あおうみがめが生息)など 【豊田委員】</p> <p>○神戸地区の歴史は、江戸時代がぽっかり空いているので、そのあたりの話もしてもらいたい。</p> <p>○東灘区は震災後の転入者が多く、歴史を学ぶ・継承する活動は重要。 【大藪委員】</p> |
| <p>2) 学習の対象者の考え方</p> <p>★一般的：次の3段階</p> <p>○就学前児童(親しむ)</p> <p>○小学校低学年(興味を持つ)</p> <p>○小学生高学年以上(学ぶ、探求する)</p> | <p>○高学年から中学生を主体とすべき。就学前児童や低学年には難しく、親子で学べる工夫が必要。【道谷委員】</p> <p>○中学生を対象とする場合は、一般の大人と同じレベルが良いが、児童を対象とする場合はわかりやすさなどへの配慮は必要。【大藪委員】</p> <p>○自分も小3の時に史跡などを探検し、歴史に興味をもち始めた。小学校3、4年からの対象としては。【山本委員】</p> <p>○高校(理科コース)においても、実験観察の重要性から、学習メニューの整備が必要。また、社会人が自立的に使える学習メニュー。</p> <p>○六甲山地や地域の成り立ち、自然と人間のかかわりを理解するための地形・地質情報、防災への取り組みについて学習できる地点を検討。【宮田委員】</p> <p>○学習ゾーンが広く、絞込みが大切。児童、生徒は専門的、学術的分野には興味を示さない。目でみて理解できるものを工夫する必要がある。【嶋津委員】</p> <p>○学習の教材によって対象者を区分する必要がある。小学低学年以下⇒「親しむ、興味を持つ」、小学高学年以上⇒「学ぶ、探求する」2段階程しては。【田中委員長】</p> |   |   |

| 項 目  | 全 体   | 砂防と地質   | まちづくりと歴史   |
|--|---|---|--|
| <p><b>3) 学習テーマ</b></p> <p>★委員会では「砂防、地質、歴史」のくくりで報告。</p> <p>★これらの関連素材をいかに「生徒の学習」と結びつけていくか、そのために必要な方策や、視点</p> | <p>○次の<b>3つの視点</b> 【道谷委員】</p> <p>視点1. <b>時間軸</b>「タイムトラベルの街」</p> <p>視点2. <b>地元との関わり</b>があるもの</p> <p>視点3. <b>日常生活との関わり</b>のあるもの</p> <p>○<b>砂防、地質、歴史</b>のテーマで賛成である。【山本委員】</p> <p>○<b>自然、防災、歴史・社会（営み）、総合</b> 【宮田委員】</p> | <p>○日常生活の中での危機意識の啓発。 【道谷委員】</p> <p>○<b>森林の大切を教える必要</b>がある。土石流、防災、植林などを教材に展開しては。 【豊田委員】</p> <p>&lt; <b>六甲山の開発と災害</b> &gt;</p> <p>①防災にたずさわる人々</p> <p>②植林にたずさわる人々ー森林を守る人々ー</p> <p>③六甲山の開発と災害</p> <p>④土石流と砂防ダム ⇒「提供資料④」(21P)</p> <p>○<b>樹林整備の必要性、里山の働き</b>などを知ってもらう。GB事業で整備した樹林と、整備していない樹林の違いを見せる。<b>(対比林)</b> 【後藤委員】</p> <p>⇒「提供資料⑤」(P22)</p> <p>○地質は素人には分かりにくいいため、<b>各時代の「生態系」</b>などを切り口としては。 【室谷委員】</p> <p>○<b>文学と大水害</b> (谷崎潤一郎：細雪) 【道谷委員】</p> <p>○<b>文学作品に見る土砂災害の描写と現在の街の様子</b> (地点) を巡るルートが考えられるのでは。<br/>※阪神大水害の様子、過去の災害：「細雪」など</p> <p>○谷崎潤一郎が執筆活動を行った住家の変遷が、「<b>てくてく阪神</b>」秋号に紹介されている。組み合わせて考えては。 【後藤委員】</p> <p>⇒「提供資料⑥」(24P)</p> <p>○五助ダム付近の<b>五助橋断層の露頭</b> (活断層であることを示す重要な露頭) 【宮田委員】</p> | <p>○<b>生徒の学習と結びつける方策</b>【道谷委員】</p> <p>1. 社会科の教材をちりばめる。</p> <p>2. 地元に関わりがある、舞台となった事に気づかせる。</p> <p>3. <b>鉄道トンネルと天井川</b></p> <p>○<b>水車や石</b>などをテーマに時代を振り返っては。</p> <p>○<b>御影石</b>はテーマの1つ。パンフレット。街を造る石積み。生活と石との関係。 【田中委員長】</p> <p>○<b>酒・水の歴史 (酒は江戸時代より)</b>【嶋津委員】</p> <p>・水⇒地下水 (井戸：酒蔵ごと)</p> <p>※屋外で見学できるもの：阪神御影駅付近</p> <p>※周辺の河川は、現在でも2面張り</p> <p>・自然環境⇒六甲おろし (冷たい・乾いた風) ⇒蒸した米を冷やす。</p> <p>・水車⇒カケヒで落とす。(人力⇒水車：臼) 急流であればあるほど、多く設置可能。精米所は、上流部にあった。</p> <p>○<b>神戸市の水事情、水の歴史</b></p> <p>住吉川の近くに阪神水道企業団があり。神戸市の<b>多くの水は淀川から送られてきている事実を知ってもらう必要</b>があるのでは。</p> <p>水道の歴史として、なぜ、水を運んでくる必要があったのかなど。 【後藤委員】</p> |

| 項 目  | 全 体   | 砂防と地質 | まちづくりと歴史 |
|--|---|-------|----------|
| <p>4) 学習のストーリー<br/>及びルート</p> <p>★学習テーマに沿い、「子供たちが興味を持てる表現」でのストーリーを組み立てが重要。</p> <p>★住吉川の学習素材は、時間軸を持って存在。この時間軸の活用も考えられる。さらに、考えられる視点</p> | <p><b>&lt;配慮事項&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供と親が楽しく六甲山に登ることが重要である。今の小学生は六甲に登らない⇒歴史を学びながら登ることの楽しさを教えたい。【豊田委員】</li> <li>○見るだけでなく、触ってみることも重要。子供が遊びの中から学習できることが望ましい。(例えば、海沿いになぜ酒蔵があるか⇒水と米や水車)【豊田委員】</li> <li>○様々な既存情報を、誰もがわかるように、わかりやすくする必要がある。【田中委員長】</li> <li>○家族で行ける場所⇒より興味をもつきっかけとなる。【山本委員】</li> <li>○既存の資料館などの活用 (山田錦の館、宝酒造：夏休みに見学会、微生物って何？ 菊正宗・白鶴：古い道具を保存)【嶋津委員】</li> </ul> <p><b>&lt;学習のストーリー・展開の考え方&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○興味を引くストーリー【道谷委員】 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の歴史を変えた街 (神戸：東灘区)</li> <li>2. 日本の経済を動かした街 (近代、近世)</li> <li>3. なぜそこが舞台になったか (街道・住吉川)</li> <li>4. 実物を見せる、使わせる (水車)</li> </ul> </li> <li>○説明を聞く(耳)だけでなく、五感を使った学習ストーリーが創れないか。岩石にさわる、水を味わう・・・など【後藤委員】</li> <li>○これまで、取り上げられてきた学習素材の関連性を整理してみるのも一つの手段。どんな話が組み立てられるのかを粗々組み立ててみてはどうか。【後藤委員】</li> <li>○アカホヤなどの資源から、何が読めるか。【田中委員長】</li> <li>○単に、既存の資源を「知る」のではなく、「なぜ」「へー」の視点から、子どもたちの総合学習プランを展開。【大黒委員】⇒「提供資料⑦」(26P)</li> </ul> <p>※現在、アカホヤを教材に、ブログでの展開を実施中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○GPS 携帯を用いた現地での情報提供サービスを行う。具体的には、児童に GPS 携帯を持たせ、住吉川上流から下流までの散策途中で、指定ポイントや課題に応じて携帯電話を操作すると、画像データやテキストによる資料が提示される。(来年度実験予定：神戸大、香川大、多摩川大の協力)【大黒委員】</li> </ul> <p><b>&lt;ルート設定の考え方&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いくつかの小まわりコースを考える。(阪神・阪急・バスなどの主要交通拠点別に)【田中委員長】</li> <li>○対象者毎の「定食メニュー」と「アラカルトメニュー」。自然コース、防災コース、歴史・社会コース、総合コースから自由に選択。【宮田委員】</li> <li>○一つのストーリー、ルートではなく、授業の単元時間を考慮したストーリー、ルート(この場合は複数日に分けて学習することも考えられる) 半日コース、1日コースなど、自由度をもったストーリー、コースを組み立てられるのでは。【後藤委員】</li> <li>○低学年は、総合コースで、自分の住んでいる地域の自然に親しみ、人の営み、歴史、災害についても学習できるメニュー。高学年は、観察を通して、自然の恵みや成り立ちについての理解が深められるメニュー。SPP：サイエンスパートナーシッププログラム事業。【宮田委員】</li> <li>○地形・地質の観察と考察の観点から、六甲山の成り立ちについて理解する。地質については、六甲山の中・上流域のルート。【宮田委員】</li> </ul> |       |          |

| 項 目                                      | 全 体  | 砂防と地質 | まちづくりと歴史 |
|--|--|-------|----------|
| <p>5) その他</p> <p>★ 具体的な施設整備<br/>イメージ</p> | <p>○安全が確保されることが最も重要（安全な道の整備など）【道谷委員・宮田委員】</p> <p>○統一のとれた説明サイン、キャラクターを使用したマップ等、トイレの復旧（水車部分の復旧）【道谷委員】</p> <p>○学校で楽しく使用できる教材とする必要あり。実物の写真や模型が分かりやすい。【豊田委員】</p> <p>○五助ダムの下に水車小屋があった。27年程度前に消失したが、復元してはどうか。水車小屋を復元し、実際にお米をついてみる。【山本委員】</p> <p>※水車小屋をつくるのであればミニチュアではなく、五助ダムあたりに当時のものを再現する必要がある。【豊田委員】</p> <p>○住吉川で安全に遊べるところをつくる（バーベキュースペースもあってもよいのでは）【山本委員】</p> <p>○今後の整備には、費用が伴うため、あまり数を欲張ると困難となる。どの適度の事業費・維持管理を考えるのか。【宮田委員】</p> <p>○渦が森断層の保存場所の整備をどうするか。アカホヤの見学地への安全なアプローチが必要。また、どのように見せるか。（シートなど）【宮田委員】</p> |       |          |